「じ」で始まる語彙辞典（メジャー）

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「じ」で始まる語彙辞典（メジャー） 4

おわりに 20

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「じ」で始まる語彙辞典（メジャー）

じ - い【辞意】
① 言葉の意味。
② 辞退・辞職したいという気持ち。「―を表明する」

じ - き【時機】
何かを行うのによい機会。しおどき。しお。「―を見て行動する」「―到来」

時機(じき)に投(とう)・ずる
機会をうまく利用する。また、時勢にかなう。「―・じて利益を得る」

じ - きょ【辞去】
［名］(スル)
別れのあいさつをして立ち去ること。「友人宅を―する」

じ - きょく【時局】
国家・社会などの、その時の情勢。世の中の成り行き。「重大な―に直面する」

じ - ぎ【時宜】
時がちょうどよいこと。適当な時期・状況。「―を得た発言」「―にかなった企画」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

児戯(じぎ)に等し・い
《「史記」絳侯世家から》
ある行為が無価値であることにいう。児戯に類する。「―・い試み」

じく‐じ【忸怩】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
深く恥じ入るさま。「―として非礼を謝す」「内心―たる思い」

時好(じこう)に投・ずる
時代の好みにうまく一致して、人々にもてはやされる。「―・じた小説」

地獄(じごく)で仏に会った
危難や苦しみのときに、思いがけない助けにあったうれしさのたとえ。地獄で仏。地獄の地蔵。

じ‐せい【自省】
［名］(スル)
自分の言動を反省すること。「深く―する」「―の念」

じ‐ちょう【自嘲】
［名］(スル)
自分で自分をつまらぬものとして軽蔑すること。「―するような薄笑い」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

じっ‐こん【昵懇】
［名・形動］《「昵」は、なれしたしむ意》
親しく打ち解けてつきあうこと。また、そのさま。懇意。「―な（の）間柄」「―にしている家」

十指(じっし)に余・る
10 本の指で数えきれない。10 以上である。「―・る功績」

じ‐づら【字面】
① 文字の形や文字を並べたぐあい。また、それから受ける感じ。「この名前は―がよくない」
② 語句または文章が表面的に示す意味。「―どおりの意味」
③ 活字に彫られている字の表面。

自腹(じばら)を切・る
必ずしも自分が負担する必要のない経費などを、自分の金で支払う。身銭を切る。「―・って会社の備品を買う」

じふ‐しん【自負心】
自分の才能や仕事について自信を持ち、誇りに思う心。「―が強い」

じ‐まわり【地回り】
① 近郷から都市へ品物を回送してくること。また、その品物。「―の野菜」
② 都市やその近郷を渡り歩いて商売すること。また、その人。「―の商人」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

じまん - たらし・い【自慢たらしい】
［形］
いかにも自分を誇るようである。「―・い話しっぷり」

じ - み【滋味】
① 栄養があって味のいいこと。栄養豊富でおいしい食べ物。「―に富む料理」
② 豊かで深い精神的な味わい。「―掬(きく)すべき作品」

耳目(じもく)に触・れる
見たり聞いたりする。「―・れるものすべて新鮮に感じた」

耳目(じもく)を驚か・す
世の人々をびっくりさせる。世間に衝撃を与える。「―・す大事件」

じゃすい - ぶか・い【邪推深い】
［形］［文］じゃすいぶか・し［ク］
邪推の念が深い。「―・く詮索する」

じゃっ - き【惹起】
［名］(スル)
事件・問題などをひきおこすこと。「独立問題が民族紛争を―する」

じゃっ - く【惹句】
人の心をひきつける短い文句。特に広告文などで、誇張してうたい上げた文句。キャッチフレーズ。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

じゃっ‐こう【弱行】
実行力が弱いこと。「薄志―」

じゃま‐だて【邪魔立て】
［名］（スル）
わざと邪魔をすること。「よけいな―しないでくれ」

じゅう‐い【重囲】
いくえにも取り囲むこと。また、その囲み。「敵の―に陥る」

じゅう‐かん【縦貫】
［名］（スル）
縦につらぬきとおること。また、南北に通じること。「本州を―する道路」「―鉄道」

じゅう‐く【重苦】
重い苦しみ。耐えがたい苦しみ。「極貧―にあえぐ」

重心（じゅうしん）を取・る
つりあいを保って安定させる。バランスを取る。

じゅう‐じゅん【柔順】
［名・形動］
性質・態度などがすなおでおとなしいこと。また、そのさま。温順。「素朴で―な人々」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

じゅう - せ【重責】
重大な責任。「―を果たす」

じゅう - ぜん【十全】
［名・形動］
少しも欠けたところがないこと。十分に整っていて、危なげのないこと。また、そのさま。「―を期して念を入れる」「―な（の）備え」

じゅう - そう【縦走】
［名］（スル）
① 縦または南北に貫き通って連なること。「半島を―する道路」
② 登山で、尾根伝いにいくつかの山頂を通って歩くこと。「北アルプスを―する」

じゅうそう - てき【重層的】
［形動］
いくつもの層にかさなっているさま。「文化の―な構造」

じゅうだい - し【重大視】
［名］（スル）
ある事柄を重大なこととみなすこと。重視。重要視。「今度の事故を―する」

じゅう - てん【充填】
［名］（スル）
欠けているところや空いているところに、ものを詰めてふさぐこと。「銃に弾丸を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

じゅうに - ぶん【十二分】
［名・形動］
十分すぎるほどたっぷりしていること。また、そのさま。「―に利益を上げる」

十年（じゅうねん）一日（いちじつ・いちにち）
長い年月の間、何の変化もなく同じ状態であること。「―のごとく平凡な生活が続く」

重箱（じゅうばこ）の隅（すみ）を楊枝（ようじ）でほじくる
非常に細かいことまで問題にして、口うるさく言うことのたとえ。重箱の隅をつつく。楊枝で重箱の隅をほじくる。⇔重箱の隅は杓子（しゃくし）で払え

じゅう - めん【渋面】
しぶい表情。不愉快そうなにがにがしい顔つき。しかめっつら。「―を作る」

じゅう - やく【重訳】
［名］（スル）
原語から直接に翻訳するのでなく、一度他の外国語に翻訳されたものを通して翻訳すること。また、その翻訳したもの。ちょうやく。「グリム童話を英語訳から―する」

じゅう - らん【縦覧】
［名］（スル）
自由に見ること。思うままに見てまわること。しょうらん。「―随意」

じゅう - れつ【縦裂】
［名］（スル）
たてに裂けること。また、その裂け目。「ザクロの実が―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

じゅく‐ぎ【熟議】
［名］（スル）
十分に論議を尽くすこと。「―したうえの結論」

じゅくし‐くさ・い【熟柿臭い】
［形］［文］じゅくしくさ・し［ク］
熟柿のようなにおいがする。酒に酔った人の息のにおいを形容する語。「―・い息を吐きかけられる」

じゅく‐たつ【熟達】
［名］（スル）
熟練して上達すること。「機械操作に―する」

じゅく‐だん【熟談】
［名］（スル）
納得がいくように十分話し合うこと。「―して決める」

じゅく‐ひ【熟否】
① 果実・穀物などの、熟すことと熟さないこと。
② 事に慣れていることと慣れていないこと。「運転技術の―」

じゅく‐らん【熟覧】
［名］（スル）
念を入れて詳しく見ること。「通達を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

じゅく - りょ【熟慮】
［名］（スル）
よくよく考えること。いろいろなことを考えに入れて、念入りに検討すること。熟考。「―のすえ決意する」「さらに―されたい」

じゅ - しょう【受章】
［名］（スル）
勲章などを受けること。「文化勲章を―する」⇔授章。

術中（じゅっちゅう）に陥（おちい）・る
計略にひっかかる。「まんまと敵の―・る」

じゅん - いつ【純一】
［名・形動］
まじりけがないこと。飾りけや、うそ偽りがないこと。また、そのさま。「―な人柄」

じゅんいつ - むざつ【純一無雑】
［名・形動］
まじりけがないこと。いちずでうそ偽りのないこと。また、そのさま。「―な（の）心境」

じゅん - えん【順延】
［名］（スル）
順繰りに期日を延ばしていくこと。「都合により工事を―する」「雨天―」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

じゅん - か【純化】
［名］（スル）
まじりけを除いて純粋にすること。また、邪心などをなくすこと。醇化。「不純物を除いて成分を―する」「精神を―する」

じゅん - か【順化】
［名］（スル）
生物が、異なった環境、特に気候の異なった土地に移された場合、しだいにその環境に適応するような体質に変わること。「寒冷地の気候に―する」

じゅん - きょう【順境】
物事が都合よく運んでいる境遇。「―のうちに育つ」⇔逆境。

じゅん - ぎょう【巡業】
［名］（スル）
各地を興行して回ること。「東北一円を―する」「地方―」

じゅん - ぐり【順繰り】
順序を追っていくこと。順番に従って、次々に行うこと。「―に席を詰める」

じゅん - けん【巡見】
［名］（スル）
ある目的をもって見て回ること。「各地を―して歩く」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

じゅん - けん【巡検】
［名］（スル）
見回って調べること。「消灯時に宿舎内を―する」

じゅん - こう【巡行】
［名］（スル）
① 各地を巡り歩くこと。「視察のため各府県を―する」
② 祭礼などのとき、御輿（みこし）や行列が、一定のコースを順に回ること。お練り。

じゅん - こう。【巡航】
［名］（スル）
① 船舶などがあちこちを回ること。「瀬戸内の島々を―する」「―船」
② ある二地点間の飛行で、一定の高度と速度を維持しながら飛行を継続している状態。

じゅん - こく【純黒】
［名・形動］
まっくろ。「―な（の）髪」

じゅん - さつ【巡察】
［名］（スル）
見回って事情を調査すること。「被災地を―する」

じゅん - しゅ【遵守】
［名］（スル）
法律や道徳・習慣を守り、従うこと。循守。「古い伝統を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

じゅん - しょく【潤色】
［名］（スル）
① 色をつけ光沢を加えること。
② 表面をつくろい飾ったり事実を誇張したりしておもしろくすること。「―を加える」「事件を―して伝える」

じゅんじょう - かれん【純情可憐】
［名・形動］
素直でけがれがなく、いじらしくていとおしく感じられるようす。「―な少女」

じゅん - ぜん【純然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
① まじりけのないさま。「―たる在来種」
② まさしくそれに相違ないさま。「―たる違法行為」

じゅん - ぼく【純朴】
［名・形動］
かざりけがなく素直なこと。人情が厚くて素朴なこと。また、そのさま。「―な人柄」「地方の―な風習」

じゅん - ゆう【巡遊】
［名］（スル）
各地を巡り歩くこと。「東北地方を―する」

じゅん - らん【巡覧】
［名］（スル）
各地を見て回ること。「富士五湖を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

じゅん - りょう【純良】
［名・形動］
① まじりけがなく質がよいこと。また、そのさま。「―なバター」
② 性質が純粋で善良なこと。また、そのさま。「―な人柄」

じゅん - りょう【順良】
［名・形動］
おとなしくてすなおであること。また、そのさま。「―な生徒」

じゅん - れき【巡歴】
［名］（スル）
諸所を巡り歩くこと。「奈良の史跡を―する」

じょう - ぎ【情誼】
人とつきあう上での人情や誠意。「―に厚い人」

じょう - ざい【常在】
［名］（スル）
いつもそこに存在すること。「連絡員を―させる」

じょう - しゅ【情趣】
しみじみと落ち着いた気分やおもむき。「古都の―を味わう」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

じょうじゅう - ざが【常住坐臥】
《「行住（ぎょうじゅう）坐臥」と混同して用いられるようになった語》
すわっているときも横になっているときも、いつも。また、ふだん。平生。副詞的にも用いる。「―忘れない」「―心掛けていること」

じょう - た【冗多】
［名・形動］
言葉などがくどくて、むだが多いこと。また、そのさま。「―な文章」

じょう - たい【常態】
平常の状態。「―に復する」

じょうだん - ぐち【冗談口】
おどけた物言い。ふざけた言葉。むだぐち。「―をたたく」

じょうだん - ごと【冗談事】
ふざけてすること。あそびごと。「もはや―では済まされない」

じょう - どう【常道】
① つねに人間が守るべき道。「―を踏みはずす」
② だれもがとる普通のやり方。一般の原則にかなったやり方。「商売の―」

じょう - まん【冗漫】
［名・形動］
表現に締まりがなくてむだが多いこと。また、そのさま。「―な文章」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

情理(じょうり)を尽く・す
当事者の気持ちをよくくみ取り、同時に道理にかなうようにする。「―・した説得」

じょ‐けい【叙景】
風景を文章に書き表すこと。「―にすぐれた小品」

如才(じょさい)が無・い
気がきいて、抜かりがない。如才ない。「―・い応対」

じんせき‐みとう【人跡未踏】
人がまだ足を踏み入れたことがないこと。「―の地」

じり‐おし【じり押し】
① じりじりと少しずつ押すこと。
② 物事を粘り強く進めること。「―の説得」

辞(じ)を低く◦する
相手に敬意をもって、へりくだった言い方をする。「―◦して頼む」

じんかく‐か【人格化】
［名］(スル)
事物を、人格をもつ人間であるかのようにみなすこと。「草木を―して表現する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

じん - きゅう【迅急】
［名・形動］
勢いがきわめてはげしく、急なこと。また、そのさま。「―な潮流」

人口（じんこう）に膾炙（かいしゃ）◦する
《膾（なます）と炙（あぶりにく）とが、だれの口にもうまく感じられるところから》
人々の話題に上ってもてはやされ、広く知れ渡る。「―◦した名言」

人後（じんご）に落ち◦ない
他人に先を越されない。ひけをとらない。「正義感の強さでは―◦ない」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　↓　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.